

障害者相談支援事業所ハンズ宮城野 木曜サロン「りらくらぶ」を開催しました

令和4年5月26日

障害者相談支援事業所ハンズ宮城野

令和4年5月19日に木曜サロン「りらくらぶ」を開催しました。

開催にあたり、新型コロナウイルスの宮城県内の感染者数がまだ数百人単位であることから体温測定、手指のアルコール消毒、マスクの着用、一定の距離の保持、常時換気をするなど、参加者には感染防止にご協力をいただきながら進行しました。

初めに、今回から前任の千葉ピアカウンセラーに代わり、佐藤ピアカウンセラーに新しく担当してもらうことになったので、佐藤ピアカウンセラーをはじめ参加者全員で自己紹介をしました。

今回の活動は一昨年に実施したことのある紙芝居で、担当者が用意した紙芝居の中から「いなむらの火」「のぼら」「あかずきんちゃんとウィルスオオカミ」の読み聞かせを行いました。「いなむらの火」は収穫した稲に火を付けて津波から村人の命を守った実在した庄屋さんの話で、「のぼら」は大国と小国の国境警備にあたる老人と若者の二人の友情を描いた話で、「あかずきんちゃんとウィルスオオカミ」はグリム童話を踏まえた三密を防ぐ話でした。紙芝居の読み聞かせをするのは二度目でしたが、よく理解してもらうために前回の反省も踏まえ、読み聞かせの前に話の概要を説明し、後から感想を聞くなどして参加者が理解できたか確認することができました。地域や時世に合った紙芝居の内容とタイムテーブルで好評のうちに終了となりました。今後企画する機会があったときは更にいい作品を吟味して実施したいと思います。

普段であれば1時間30分の開催時間のところ、新型コロナウイルス感染防止のため、引き続き30分短縮した1時間の開催としました。

今後も周知の幅を広げ、「りらくらぶ」の活動が参加者の皆様にとってますます交流の深まる場になるようにご意見を参考にし、より多くの方々に参加していただける企画を催していきたいと思います。次回(令和4年7月)は21日を予定しています。

